

2000.11.7. 山口大学病院 DIセンター
(22-2668)

静注用脂肪乳剤 / 取扱い注意

静注用脂肪乳剤投与に際し、以下の点に注意すること。

【商品名】イントラファット 10% 200mL / 袋
イントラリポス 10% 250mL / 袋、50mL / 袋
イントラリピッド 20% 100mL / V

ポリ塩化ビニル (PVC) 製の輸液セット・カテーテルの使用は避けること。

<理由>

PVC 製の輸液セット等の可塑剤である DEHP〔フタル酸ジ - (2 - エチルヘキシル)〕が溶出するため。

これまでのところ静注用脂肪乳剤投与時に輸液セットから溶出する DEHP により、好ましくない症状があらわれたことはない。

当院で使用可能な輸液セットは以下の通り。

輸液セット：テルモポンプ用定量輸液セット A 【物流番号：02724】
JMS ニトログリセリン用輸液セット (輸液フィルター・三方活栓付き) 【物流番号：04532】
エクステンションチューブ：JMS エクステンションチューブ 500mm 【物流番号：04533】

ミリスロール注、ラストット注、タキソール注、サンラビン注、サンディミュン注も上記の輸液セットを使用すること。

適応症追加のお知らせ

プログラフ cap0.5mg、1mg

【効能・効果】全身型重症筋無力症 (胸腺摘出後の治療において、ステロイド剤の投与が効果不十分、又は副作用により困難な場合)

【用法・用量】1日1回 3mg を夕食後に経口投与。

投与開始3カ月間は1カ月に1回、以後は定期的におよそ投与12時間後の血中濃度を測定し投与量を調節。

高い血中濃度が持続する場合に腎障害が認められているので、血中濃度をできるだけ 20ng/mL 以下に維持。

ヘリコバクター・ピロリ感染の治療における保険適用について

ランソプラゾール、アモキシシリン、クラリスロマイシンの3剤併用による胃潰瘍、十二指腸潰瘍に対するヘリコバクター・ピロリ除菌法が平成12年11月1日から保険適用となった。適用になる効能・効果、用法・用量は以下の通り。

【効能・効果】胃潰瘍又は十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリ感染

【用法・用量】ランソプラゾール1回30mg、アモキシシリン1回750mg及びクラリスロマイシン1回200mgの3剤を同時に1日2回、7日間経口投与。クラリスロマイシンは必要に応じ適宜増減(上限:1回400mg、1日2回)。

当院における上記除菌療法に使用可能な薬剤

ランソプラゾール : タケプロン cap
クラリスロマイシン : クラリシッド錠 200
アモキシシリン : サワシリン cap

【処方例】

R p) タケプロン cap 30mg 2 cap
クラリシッド錠 200mg 2 錠
サワシリン cap 250mg 6 cap
1日2回 朝夕食後 7日分

オーダ中止のお知らせ

リサモール錠(消化管運動賦活調整剤)

リサモール錠が10月18日よりオーダ中止。

<理由>

心血管系副作用により一時出荷停止 当院では本剤を常備薬から削除。

<代替薬>

プリンペラン、ガナトン、ガスモチン、アボビス、セレキノ、ナウゼリン等

販売中止のお知らせ

ダイクロトライド10倍散(チアジド系降圧利尿剤)

ダイクロトライド10倍散が11月中旬の官報告示にて経過措置品目となる予定。これにより本年12月末日で販売中止。

<経過措置期間>官報告示日~平成13年3月31日

<販売中止時期>平成12年12月末日

<薬価削除>平成13年4月1日

Drug Safety Update No.93 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 : 最重要 : 重要 無印 : その他

成分名 (薬品名)	主な改訂内容
塩酸アミガロン (アンカロン錠)	重要な基本的注意: 心停止に至る場合もある。 重大な副作用: 徐脈からの心停止
アルカトロン (バスタン注)	重大な副作用: ショック、アナフィラキシーショック (蕁麻疹、血圧低下、呼吸困難)
以外	その他の副作用: 蕁麻疹、AST (GOT) 上昇、ALT (GPT) 上昇、 γ -GTP 上昇、発汗、血清総蛋白減少
塩酸エチジン (ザンタック錠・注射液)	重大な副作用: ・汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少 <初期症状> 全身倦怠感、脱力、皮下・粘膜下出血、発熱等 血液検査の実施 ・肝機能障害 (AST、ALT、 γ -GTPの上昇を伴う)、黄疸、横紋筋融解症 (筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇) 重大な副作用 (類薬): 皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群)、中毒性表皮壊死症 (Lyell 症候群)、再生不良性貧血、心ブロック
ルイン酸モノエタノールアミン (ルイミン注射用)	重大な副作用: 重篤な胃潰瘍 (巨大胃潰瘍)
以外	その他の副作用: 貧血
レボフロキサシ (クレビット錠)	重大な副作用: ・肝機能障害、黄疸 (劇症肝炎があらわれることがある) ・血小板減少
クエン酸タンデスロン (ゼニール錠)	その他の副作用: パーキンソン様症状
ロルメタキサム (ロラメット錠)	禁忌: 本剤成分過敏症 その他の副作用: 発疹、多夢、感情鈍麻、せん妄、肝機能異常、口渇、腹痛
ビモバンタン (アカルデイクアセル)	その他の副作用: 血小板減少、倦怠感
カルバマセピン (テグレート錠・細粒)	重大な副作用: 血小板減少 その他の副作用: CK (CPK) 値上昇 妊婦、産婦、授乳婦等への投与: 他の抗てんかん剤 (特にバルプロ酸ナトリウム) の併用で口蓋裂、口唇裂、心室中隔欠損等の奇形を有する児の出産例が多い。 妊娠中は可能な限り他の抗てんかん剤との併用は避ける。
カバジロール (アチスト錠)	重大な副作用: ・重大な循環器系の副作用 (高度な徐脈、完全房室ブロック、心不全) ・肝機能障害 (AST (GOT)、ALT (GPT)、 γ -GTPの上昇等を伴う)、黄疸
メシル酸トキサリジン (カルデナリン錠)	重大な副作用: 血小板減少
塩酸フラジリン (ミニプレス錠)	重要な基本的注意: 投与初期又は用量の急増時などに、失神・意識喪失を起こすことがある。 その他の副作用: 肝機能異常、徐脈、心悸亢進、起立性低血圧、低血圧、潮紅、幻覚、神経過敏 (症)、眩暈、肺炎、女性化乳房、扁平苔癬、血管炎、蕁麻疹、脱毛、発熱、疼痛、関節痛、異常感覚、強膜変色、眼痛、抗核因子試験陽性、疲労、呼吸困難、鼻出血、鼻充血
ペリンドプリルエルミン (コバシル錠)	その他の副作用: 血小板減少
セリバスタチナトリウム (バイコール錠)	重大な副作用: 肝機能障害 (AST (GOT)、ALT (GPT)、 γ -GTPの上昇等を伴う)、黄疸 その他の副作用: 嘔吐、下痢、浮腫、関節痛
ソファロン (ソロン錠)	副作用: 発疹、AST (GOT) 上昇、ALT (GPT) 上昇
酢酸コセリン (ゾラテックス)	その他の副作用: (前立腺癌、閉経前乳癌) 感覚異常 (しびれ等)、骨塩量の低下、血小板減少 (前立腺癌) 血糖値上昇 (閉経前乳癌) 卵巣嚢胞
塩酸ヒナズン (アルジマ錠)	その他の副作用: 女性型乳房、乳房腫大

<p>塩酸ジブカイン (パルカミンエ注射液)</p>	<p>慎重投与：・腹部腫瘤のある患者（腹部腫瘤により仰臥位性低血圧を起こしやすく、麻酔範囲が広がりやすい） ・全身状態が不良な患者（麻酔に対する忍容性が低下）</p> <p>重要な基本的注意：・本剤の投与に際しては、患者の全身管理が必要。 　　予め患者の全身状態を把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻酔範囲が高位に及んだ場合、過度の低血圧、徐脈、呼吸抑制、心停止のおそれあり。 ・注入後の急激な体位の変換は、麻酔範囲が高位に及ぶおそれあり。 ・麻酔中は頻回にパルカイン及び動脈血酸素飽和度の測定を行う。 ・手術が終了しても麻酔が完全に消失するまでパルカイン及び全身状態の観察を行う。 ・手術終了後　　帰室時 - パルカインの確認 　　　　　　　　帰室後 - 麻酔効果が完全に消失するまで全身状態の観察を頻回に行う。 ・前投薬、鎮静剤、鎮痛薬などによる呼吸抑制が発現するおそれあり。これらの薬剤は少量から投与。 ・脊椎麻酔により、まれに知覚障害、膀胱直腸障害、麻痺等の脊髄神経障害　次の場合本剤を注入しない。 <ul style="list-style-type: none"> 1．穿刺に際して患者が放散痛を訴えた場合 2．脳脊髄液が吸引しにくい場合 3．血液混入を認めた場合 ・髄液の流出を最小限にとどめるため、できるだけ細い脊椎穿刺針（25G程度）を使用。必要に応じて輸液を投与。 <p>重大な副作用：・一過性の異常感覚 　　<原因> 注射針留置時に神経（神経幹、神経根）に触れることによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続的な異常感覚、疼痛、知覚障害、運動障害、膀胱直腸障害等の神経学的疾患 　　<原因> 注射針、薬剤、虚血での神経への障害による。 <p>その他の副作用：血圧低下、徐脈</p> <p>妊婦、産婦、授乳婦等への投与： 　　妊娠後期の患者には、投与量の減量の考慮とともに全身状態の観察を行うなど慎重に投与（妊娠末期は、仰臥位性低血圧をおこしやすく、麻酔範囲が広がりやすい）。</p> <p>小児等への投与：安全性は確立していない。</p> <p>過量投与：局所麻酔薬の過量投与や血管内誤注入等による血中濃度の上昇に伴って中毒症状が発現する。</p> <p><u>徴候・症状</u> （中枢神経系） 　　初期症状：不安、興奮、多弁、口周囲の知覚麻痺、舌のしびれ、ふらつき、聴覚過敏、耳鳴、視覚障害、振戦等 　　症状進行：意識消失、全身痙攣、低酸素血症、高炭酸ガス血症 　　重篤な場合：呼吸停止</p> <p>（心血管系） 　　血圧低下、徐脈、心筋収縮力低下、心拍出量低下、刺激伝導系の抑制、心室性頻脈及び心室細動等の心室性不整脈、循環虚脱、心停止等</p> <p><u>処置</u> 　　呼吸維持、酸素を十分投与、必要に応じて人工呼吸 　　振戦・痙攣が著明　ジブカイン又は超短時間作用型パルカイン製剤の投与 　　心機能抑制　　カコーラミン等の昇圧剤投与 　　心停止　　直ちに心マッサージ</p> <p>その他の注意：動物実験において、不可逆性の神経変性が観察された。</p>
<p>ダイズ油 (イントラファット注、イントラピット、イントラホス)</p>	<p>適用上の注意：ポリ塩化ビニル製の輸液セットの使用で、可塑剤であるDEHP〔di-(2-ethylhexyl)phthalate; 2-エチルヘキシル〕が製剤中に溶出。 DEHPを含まない輸液セット等を使用することが望ましい。</p>
<p>塩酸セリジソン(シルテック錠)</p>	<p>重大な副作用：AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GTP、LDH、Al-Pの上昇等の肝機能障害（初期症状/全身倦怠感、食欲不振、発熱、嘔気等）、黄疸</p>

<p>塩化マンガ ン・硫酸亜鉛配合剤（エレミン注）</p>	<p>用法及び用量に関連する使用上の注意： 本剤投与中、マンガ ンの血液中濃度の上昇、及びその他の微量元素の血漿中濃度が上昇 休薬、減量、中止。 血液中マンガ ン濃度の基準値：Mn（$\mu\text{g/dL}$）0.52～2.4 重要な基本的注意：長期投与の場合以下の点に注意 （１）必要に応じ、マンガ ンの血液中濃度、及びその他の微量元素の血漿中濃度を検査。 （２）マンガ ンにおいて、血液中濃度の上昇、脳内蓄積による脳内MRIにおけるT₂強調画像での高信号 休薬、減量、中止。 パ ーキンソン様症状 中止等の適切な処置。 その他の副作用：パ ーキンソン様症状</p>
<p>アロプリノール（ザイロリック錠）</p>	<p>重要な基本的注意：皮膚症状又は過敏症が発現し、重篤な症状に至ることがある。 重大な副作用：・皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、中毒性表皮壊死症（Lyell症候群）、剥脱性皮膚炎等の重篤な発疹又は過敏性血管炎（皮膚剥脱、発熱、リンパ節症、関節痛、肝障害、腎機能異常、好酸球増多等を伴うことあり） 発熱、発疹等が認められれば直ちに投与中止。ステロイド 剤投与等の適切な処置。 ・ショック、アナフィラキシー様症状 ・重篤な肝障害、黄疸 その他の注意：（外国）疫学調査報告で、白内障があらわれたとの報告あり。</p>
<p>タロリス水和物（プロクラファセル）</p>	<p>効能・効果に関する使用上の注意： 全身型重症筋無力症…本剤単独使用の際の有効性については使用経験がなく明らかでない。 用法・用量に関する使用上の注意： 全身型重症筋無力症…副作用の発現を防ぐため、投与開始3カ月間は1カ月に1回、以後は定期的におよそ投与12時間後の血中濃度を測定し、投与量を調節。 十分な効果が得られた場合、効果が維持できる用量まで減量。 高い血中濃度の持続で腎障害 血中濃度を20ng/mL以下に維持 併用注意：ザビテル、ルフィビル（HIVプロテアーゼ阻害剤） 重大な副作用：呼吸困難、急性呼吸窮迫症候群。全身型重症筋無力症ではクレーゼを起こすことがある。 人工呼吸等の適切な処置。 その他の副作用：低リン酸血症、低カルシウム血症、リンパ球減少 小児等への投与：全身型重症筋無力症では安全性は確立していない。</p>
<p>（プロクラ注）</p>	<p>用法・用量に関する使用上の注意： 高い血中濃度の持続で腎障害 血中濃度を20ng/mL以下に維持 併用注意：ザビテル、ルフィビル（HIVプロテアーゼ阻害剤） その他の副作用：低リン酸血症、低カルシウム血症、リンパ球減少</p>
<p>ファロメトナトリウム（ファロメ錠・ドライロップ 小児用）</p>	<p>重大な副作用：・アフィキシー様症状（呼吸困難、全身潮紅、血管浮腫、血圧低下等） ・間質性肺炎（発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常等を伴う） 副腎皮質ホルモン剤の投与等適切な処置 ・肝機能障害（AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-P等の上昇）、黄疸</p>

新規常備医薬品一覧表

平成12年10月30日

新規常備医薬品H F 追補版

平成12年11月

マクロライド系

アジスロマイシン水和物 azithromycin hydrate ジスロマック Zithromac (ファイザー) 錠：250mg 薬価 376.3 Cap 小児用：100mg 285.4 細粒小児用：100mg/g 428.0	【用】 [錠] 500mg を 1日1回、3日間合計 1500mg [Cap・細粒] 10mg/kg を 1日1回、3日間連続投与 1日最大投与量 500mg (成人量)
【禁】 本剤成分過敏症 【重大な副作用】 ショック 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 中毒性表皮壊死症(Lyell 症候群) 【備考】 15員環マクロライド系抗生物質 (半減期)約70時間	

HMG - CoA還元酵素阻害剤

アトルバスタチンカルシウム水和物 atorvastatin calcium hydrate リピトール Lipitor (山之内) 錠：10mg 薬価 181.6	【効】 (1)高コレステロール血症 (2)家族性高コレステロール血症 【用】 (1)1日1回10mg 1日20mgまで増量可 (2)1日1回10mg 1日40mgまで増量可
【禁】 本剤成分過敏症 肝代謝能が低下していると考えられる以下の患者：急性肝炎、慢性肝炎の急性増悪、肝硬変、肝線維症、肝癌、黄疸 妊娠又はその可能性のある婦人 授乳婦 【原禁】 腎機能に関する臨床検査値異常患者へのフィブラート系薬剤との併用 【重大な副作用】 横紋筋融解症 ミオパシー 肝機能障害 黄疸 過敏症 血小板・出血凝血障害 皮膚・皮膚付属器障害 【備考】 強力な血清コレステロール低下作用を有する	

1 - 遮断薬

ウラピジル Urapidil エبرانチル Ebrantil Cap : 15mg 薬価 (科研) 24.2	【効】 (1)本態性高血圧症 腎性高血圧症 褐色細胞腫による高血圧症 (2)前立腺肥大症に伴う排尿障害 (3)神経因性膀胱に伴う排尿困難 【用】 (1) 1回 15mg 1日 2回朝夕食後より投与開始 効果不十分の場合 1 ~ 2週間の間隔をおいて 1日 120mg まで増量 (2) 1回 15mg 1日 2回朝夕食後より投与開始 効果不十分の場合 1 ~ 2週間の間隔をおいて 1日 60 ~ 90mg まで増量 1日最高 90mg (3) 1回 15mg 1日 2回朝夕食後より投与開始 1 ~ 2週間の間隔をおいて 1日 60mg に増量 1日最高 90mg
【禁】 本剤成分過敏症	

その他の外皮用剤

カルシポトリオール calcipotriol ドボネックス Dovonex 軟膏〔劇〕: 10g 薬価 (藤沢) 160.7/g	【効】 尋常性乾癬 【用】 1日 2回適量 1週間に 90g を越える使用は行わない
【禁】 本剤成分過敏症 【備考】 活性型ビタミン D3 製剤 0.005%	

マクロライド系

クラリスロマイシン clarithromycin クラリス Clarith (大正) DS: 100mg/g 薬価 147.0	【用】 一般感染症: 1日 10~15mg/kg を2~3回に分けて経口投与 1日最大投与量 400mg 後天性免疫不全症候群に伴う播種性マイコバクテリア感染症: 1日 15mg/kg を2回に分服
【禁忌】 本剤過敏症 テルフェナジン シサプリド 延長 心室性頻脈 (Torsades de pointes を含む) 症候群 偽膜性大腸炎 【備考】 小児用	ピモジド 【重大な副作用】 ショック アナフィラキシー様症状 QT 血小板減少症 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) PIE

経口血糖降下剤

グリメピリド glimepiride アマリール Amaryl (アベンティス) 錠〔劇〕: 1mg 薬価 26.7 錠〔劇〕: 3mg 62.5	【効】 インスリン非依存型糖尿病(ただし、食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない場合に限る) 【用】 1mg から開始し、1日1~2回朝または朝夕、食前または食後 維持量: 1日1~4mg 1日最高6mg
【警】 重篤かつ遷延性の低血糖を起こすことがある 型糖尿病(若年型糖尿病、ブリティル型糖尿病)	【禁】 重症ケトーシス 糖尿病性昏睡又は前昏睡 インスリン依存型糖尿病(若年型糖尿病、ブリティル型糖尿病) 重篤な肝又は腎機能障害 重症感染症 手術前後 重篤な外傷 下痢、嘔吐等の胃腸障害 妊娠又はその可能性のある婦人 本剤成分又はスルホンアミド系薬剤過敏症 【重大な副作用】 低血糖 溶血性貧血 再生不良性貧血 無顆粒球症 汎血球減少症 【備考】 肝臓、末梢組織でのインスリン感受性改善作用を有する

抗てんかん剤

クロバザム clobazam マイスタン Mystan 錠：5mg 錠：10mg 細粒：10mg/g	(アズウェル) 薬価 27.4 47.2 40.3/g	【効】他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかんの下記の発作型における抗てんかん薬との併用：[部分発作]単純部分発作、複雑部分発作、二次性全般化強直間代発作 [全般発作]強直間代発作、強直発作、非定型欠神発作、ミオクロニー発作、脱力発作 【用】1日10mgより開始 維持量：1日10～30mgを1～3回に分服 最高1日量：40mg <小児>1日0.2mg/kgより開始 維持量：1日0.2～0.8mg/kgを1～3回に分服 最高1日量：1.0mg/kg
【禁】本剤成分過敏症 急性狭隅角緑内障 重症筋無力症【重大な副作用】依存性【備考】難治性てんかんに有用		

パップ剤

ケトプロフェン ketoprofen モーラス Mohrus 貼付剤：30mg/枚	(久光) 薬価 35.5	【効】下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛 【用】1日2回患部に貼付
【禁】本剤成分過敏症 アスピリン喘息【重大な副作用】アナフィラキシー様症状 喘息発作の誘発（アスピリン喘息）		

免疫抑制剤

<p>シクロスポリン ciclosporin ネオーラル Neoral (ノバルティス) Cap〔劇〕: 25mg 薬価 398.9</p>	<p>【効】(1) 腎移植における拒否反応の抑制 (2) 骨髄移植における拒否反応及び移植片対宿主病の抑制 (3) ベーチェット病(眼症状のある場合) (4) 肝移植における拒否反応の抑制 (5) 尋常性乾癬(皮疹が全身の30%以上におよぶものあるいは難治性の場合) 膿泡性乾癬 乾癬性紅皮症 関節症性乾癬 (6) 再生不良性貧血(重症) 赤芽球癆 (7) ネフローゼ症候群(頻回再発型あるいはステロイドに抵抗性を示す場合)</p> <p>【用】(1) 移植1日前から1日量9~12mg/kgを1日2回に分服以後1日2mg/kgずつ減量 維持量は4~6mg/kg (2) 移植1日前から1日量9~12mg/kgを1日2回に分服 3~6カ月間継続し、その後徐々に減量し中止 (3) 1日量5mg/kgを1日2回に分服から開始し、以後1カ月毎に1日1~2mg/kgずつ減量又は増量 維持量は3~5mg/kg (4) 移植1日前から1日量14~16mg/kgを2回に分服 以後徐々に減量 維持量は5~10mg (5) 1日量5mg/kgを2回に分服 効果が見られた場合、1カ月毎に1日1mg/kgずつ減量 維持量は3mg/kg (6) 1日量6mg/kgを2回に分服 (7) 下記の用量を2回に分服〔頻回再発型〕<成人> 1日量1.5mg/kg <小児> 1日量2.5mg/kg [ステロイド抵抗性]<成人> 1日量3mg/kg <小児> 1日量5mg/kg</p>
<p>【警】サンディミュンから切り換える際にはシクロスポリンの血中濃度(AUC、Cmax)の上昇による副作用発現に注意(バイオアベイラビリティが向上している) 本剤からサンディミュンへの切り換えは原則として行わない【禁】本剤成分過敏症 タクロリムス 生ワクチン 妊娠又はその可能性のある婦人 授乳婦【原禁】神経ベーチェット病【備考】安定した薬物動態が得られるよう改良</p>	

脳機能・代謝調整剤

タルチレリン水和物 taltirelin hydrate セレジスト Ceredist (田辺) 錠：5mg 薬価 1310.0	【効】脊髄小脳変性症における運動失調の改善 【用】1回 5mg を 1日 2回朝夕食後
【重大な副作用】痙攣【備考】経口 TRH 誘導体	

利尿薬

トラセミド torasemide ルプラック Luprac (富山化学) 錠：4mg 薬価 33.5 錠：8mg 52.2	【効】心性浮腫 腎性浮腫 肝性浮腫 【用】1日 1回 4～8mg
【禁】無尿 肝性昏睡 体液中の Na、K の明らかな減少 本剤成分及びスルフォンアミド誘導体過敏症 テルフェナジン アステミゾール【備考】ループ利尿剤（抗アルドステロン作用を有する）	

眼科用内用・注射用剤

ヒアルロン酸ナトリウム Hyaluronate Sodium オペリード Opelead (千寿) 外用：5mg/0.5mL/シリンジ 薬価 13253.2	【効】 (1) 眼内レンズ挿入術における手術補助 (2) 全層角膜移植術における手術補助 【用】 (1) 眼内レンズ挿入前に 0.1 ~ 0.5mL を前房内へ注入 眼内レンズのコーティングに約 0.1mL 使用 (2) 移植眼の角膜片を除去後、0.1 ~ 0.5mL を前房内へ注入し、移植片角膜を本剤上に浮遊させて縫合 提供眼の移植片角膜のコーティングに約 0.1mL 使用
【原禁】 本剤成分又は蛋白系薬剤過敏症	

眼科用内用・注射用剤

ヒアルロン酸ナトリウム、コンドロイチン硫酸ナトリウム sodium hyaluronate ,sodium chondroitin sulfate ビスコート Viscoat (日本アルコン) 外用：0.5mL/A 薬価 8416.6	【効】 次の一連の眼科手術における手術補助：超音波乳化吸引法による (1) 白内障摘出術 (2) 眼内レンズ挿入術 【用】 (1) 0.1 ~ 0.4mL (2) 0.1 ~ 0.3mL を前房内注入 眼内レンズのコーティングに 0.1mL 使用
【原禁】 本剤成分又は蛋白系薬剤過敏症 【備考】 (1 A 中) H : 15mg、 C : 20mg	

甲状腺・副甲状腺ホルモン剤

マキサカルシトール maxacalcitol		【効】維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症
オキサロール Oxarol	(中外)	【用】透析終了直前に1回2.5~10 μ gを週3回、透析回路静脈側に注入(静注) 上限1回20 μ g
注〔劇〕: 2.5 μ g/1mL/A	薬価 1486.0	
注〔劇〕: 5 μ g/1mL/A	1928.0	
注〔劇〕: 10 μ g/1mL/A	2812.0	
【重大な副作用】高カルシウム血症【備考】活性型ビタミンD ₃ 誘導体		

抗アレルギー剤

ラマトロバン ramatroban		【効】アレルギー性鼻炎
バイナス Baynas	(バイエル)	【用】1回75mgを1日2回朝夕食後(又は就寝前)
錠: 75mg	薬価 182.4	
【禁】本剤成分過敏症【備考】TXA ₂ 受容体拮抗作用		

鼻腔局所作用薬

塩酸レボカバスチン levocabastine hydrochloride		【効】アレルギー性鼻炎
リボスチン Livostin	(日本新薬)	【用】1日4回(朝、昼、夕方及び就寝前) 1回各鼻腔に2噴霧
点鼻液: 3.75mg/15mL/瓶	薬価 1098.9	
【備考】局所用選択H ₁ 遮断剤 2噴霧=0.05mg		

抗ウイルス剤

塩酸バラシクロビル valaciclovir hydrochloride バルトレックス Valtrex (グラクソ・ウエルカム) 錠: 500mg 薬価 667.2	【効】帯状疱疹 【用】1回 1000mg を1日3回
【禁】本剤成分あるいはアシクロビル過敏症【重大な副作用】アナフィラキシーショック アナフィラキシー様症状(呼吸困難、血管浮腫等) 血小板減少 汎血球減少 無顆粒球症 播種性血管内凝固症候群(DIC) 血小板減少性紫斑病 急性腎不全 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 呼吸抑制 無呼吸 間質性肺炎 昏睡 せん妄 妄想 幻覚 錯乱 痙攣 てんかん発作 麻痺【備考】アシクロビルのプロドラック	

局所麻酔剤

塩酸ブピバカイン bupivacaine hydrochloride マーカイン Marcain (アストラゼネカ) 注〔劇〕: 20mg/4mL/A (等比重) 薬価 480.0 注〔劇〕: 20mg/4mL/A (高比重) 480.0	【効】脊椎麻酔(腰椎麻酔) 【用】1回 10~20mg (2~4mL) を脊髄クモ膜下腔に注入 1回 20mg (4mL) を超えないこと
【禁】重篤な出血やショック状態 注射部位又はその周辺の炎症 敗血症 本剤成分又はアミド型局所麻酔剤過敏症 中枢神経系疾患(髄膜炎・灰白脊髄炎・脊髄ろう等) 脊椎の活動性結核、転移性腫瘍【重大な副作用】ショック 振戦 痙攣 異常感覚 知覚・運動障害【備考】保存剤非含有	

抗腫瘍性植物成分製剤

パクリタキセル paclitaxel タキソール Taxol (BMS) 注〔毒〕: 30mg/V 薬価 16748 注〔毒〕: 100mg/V 48672	【効】 卵巣癌 非小細胞肺癌 乳癌 【用】 1日1回 210 mg/m ² を3時間かけて点滴静注 少なくとも3週間休薬 これを1クールとして繰り返す 生食・5%ブドウ糖 500mL に混和
【警】 本剤投与前に必ず前投薬を行う 骨髄抑制等が起こることがあるので、頻回に臨床検査を行う【禁】 重篤な骨髄抑制 感染症 本剤又はポリオキシエチレンヒマシ油含有製剤過敏症 妊娠又はその可能性のある婦人【重大な副作用】 ショック 骨髄抑制 末梢神経障害 麻痺 心筋梗塞 うっ血性心不全 肺塞栓 血栓性静脈炎 脳卒中 肺水腫 難聴 耳鳴 間質性肺炎 肺線維症 腸管穿孔 肝壊死 肝性脳症 膵炎 急性腎不全	

下垂体ホルモン剤

ソマトロピン (遺伝子組換え) somatropin(genetical recombination) ジェノトロピン Genotropin (P & U) 注 : 5.3mg/V 薬価 67888 加`クイック注 : 1mg/V 13332 加`クイック注 : 1.3mg/V 17673	【効】 (1)骨端線閉鎖を伴わない下垂体性小人症 成長ホルモン分泌不全を示す骨端線閉鎖を伴わないターナー症候群における低身長 (2)骨端線閉鎖を伴わない慢性腎不全における低身長 【用】 (1)1週間に0.175mg/kgを2~4回に分けて筋注又は6~7回に分けて皮下注 (2)1週間に0.175mg/kgを6~7回に分けて皮下注するが、開始6カ月以降増量基準に適合した場合は0.35mg/kgまで増量できる
【禁】 糖尿病 悪性腫瘍 妊娠又はその可能性のある婦人	

下垂体ホルモン剤

ソマトロピン（遺伝子組換え） somatropin(genetical recombination) グロウジェクト BC Growject （住友） 注：9mg/カートリッジ 薬価 101832	【効】(1)骨端線閉鎖を伴わない下垂体性小人症 (2)骨端線閉鎖を伴わないターナー症候群における低身長 【用】1週間に(1)では 0.175mg/kg、(2)では 0.35mg/kg を 2～4回に分け筋注又は 6～7回に分けて皮下注
【禁】糖尿病 悪性腫瘍 妊娠又はその可能性のある婦人	

下垂体ホルモン剤

ソマトロピン（遺伝子組換え） somatropin(genetical recombination) ノルディトロピン S Norditropin （ノボ） 注：10mg/カートリッジ 薬価 127290	【効】(1)骨端線閉鎖を伴わない下垂体性小人症 (2)骨端線閉鎖を伴わない次の疾患における低身長 (a)成長ホルモン分泌不全を示すターナー症候群 (b)軟骨異栄養症 【用】下垂体性小人症,ターナー症候群：1週間に 0.175mg/kg を 6～7回に分けて皮下注 軟骨異栄養症：1週間に 0.35mg/kg を 6～7回に分けて皮下注
【禁】糖尿病 悪性腫瘍 妊娠又はその可能性のある婦人【重大な副作用】O脚悪化【備考】リキッドタイプ	

抗アレルギー剤

クロモグリク酸ナトリウム sodium cromoglicate インタール Intal (藤沢ファイソズ) エアロゾルA : 200mg/本 薬価 4110.8 吸入液 : 20mg/2mL/A 86.4	【効】気管支喘息 【用】[吸入液] 1回1A 1日3~4A を電動式ネブライザーで吸入 以後1日2~3A に減量 [エアロゾル] 1回2噴霧 1日4回吸入 以後1日2~3回に減量
【禁】本剤成分過敏症【備考】エアロゾルA : (添加物) 代替フロン	

中毒治療薬

球形吸着炭 spherical carbonaceous adsorbent クレメジン Kremezin (三共) 2g/包 薬価 162.7/g	【効】慢性腎不全(進行性)における尿毒症症状の改善及び透析導入の遅延 【用】1日6g(3包)を3回に分服
【禁】消化管通過障害	

その他のリウマチ・関節症治療剤

ヒアルロン酸ナトリウム hyaluronate sodium アルツディスポ Artz (科研) 注 : 25mg/2.5mL/シリンジ 薬価 2871	【効】変形性膝関節症 肩関節周囲炎 【用】1回1シリンジを1週間ごとに連続5回膝関節腔内又は肩関節内に投与
【禁】本剤成分過敏症	

局所麻酔剤

塩酸メピバカイン mepivacaine hydrochloride カルボカイン Carbocain (アストラゼネカ) 注〔劇〕: 100mg/10mL/A 薬価 125 注〔劇〕: 1g/100mL/V 1250	【効】(1) 硬膜外麻酔 (2) 伝達麻酔 (3) 浸潤麻酔 【用】(1) 100~300mg (2) 50~200mg (指趾神経遮断には 40~80mg) (3) 20~400mg 最高1回500mg 詳細は添付 文書参照
【禁】重篤な出血やショック状態 注射部位又はその周辺の炎症 敗血症 本剤又はアニリド系局所麻酔剤過敏症 (血管収縮剤を添加しないこと) 血管収縮剤過敏症 高血圧 動脈硬化 心不全 甲状腺機能亢進 糖尿病 血管けいれん 耳、指趾又は陰茎【重大な副作用】ショック 中枢神経中毒症状	

不整脈治療薬 (Ic群)

塩酸ピルジカイニド pilsicainide hydrochloride サンリズム Sunrythm (第一) Cap〔劇〕: 25mg 薬価 75 Cap〔劇〕: 50mg 127.2 注〔劇〕: 50mg/5mL/A 1008.0	【効】〔内〕頻脈性不整脈で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合 [注] 緊急治療を要する頻脈性不整脈 (上室性、心室性) 【用】〔内〕1日150mgを3回に分服 最大1日225mg 透析必要な腎不全患者: 1日25mgから投与開始 [注] 期外収縮: 1回0.75mg/kgを血圧・心電図監視下に10分間で徐々に静注 頻拍: 1回1.0mg/kgを血圧・心電図監視下に10分間で徐々に静注
【禁】うっ血性心不全 高度の房室ブロック 高度の洞房ブロック【重大な副作用】心室細動 心室頻拍 失神	

5-HT₃受容体拮抗薬

塩酸オンダンセトロン Ondansetron HCl ゾフラン Zofran (グラクソ・ウエルカム) ザイデイス錠〔劇〕: 4mg 薬価 1874.2 シロップ〔劇〕: 0.5mg/mL 411.1/mL 注〔劇〕: 4mg/2mL/A 8154	【効】抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心, 嘔吐) 【用】[ザイデイス錠]1日1回4mg [シ]小児に1日1回2.5mg/m ² 最大1回4mg [注]1日1回4mg,小児には2.5mg/m ² , 緩徐に静注
【禁】本剤成分過敏症【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 てんかん様発作【備考】ザイデイス錠: 口腔内で速溶	

鼻腔局所作用薬

クロモグリク酸ナトリウム sodium cromoglicate インタール Intal (藤沢ファイソンス) 点鼻液: 190mg/瓶 薬価 1238.7	【効】アレルギー性鼻炎 【用】1日6回(起床時,日中約3時間ごとに4回,就寝前)1回各鼻腔に1噴霧ずつ噴霧吸入
【禁】本剤成分過敏症【重大な副作用】アナフィラキシー様症状【備考】噴霧容器一体型	

感染症治療剤

塩酸ロメフロキサシン lomefloxacin hydrochloride ロメフロロン Lomeflon (千寿) 点眼液：15mg/5mL/本 薬価 795.5	【効】ロメフロキサシン感受性菌による次の感染症：眼瞼炎、麦粒腫、涙のう炎、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎、角膜潰瘍、術後感染症 【用】1回1滴1日3回
【禁】本剤成分過敏症【備考】保存剤非含有	

血液製剤

フィブリノゲン配合剤 fibrinogen combined drug タココンブ Tacho Comb (鳥居) 3.0cm×2.5cm 薬価 19325.2 4.8cm×4.8cm 39641.5 9.5cm×4.8cm 76434.5	【効】肝臓外科,肺外科,心臓血管外科及び産婦人科領域における手術時の組織の接着・閉鎖(ただし,縫合あるいは接合した組織から血液,体液又は体内ガスの漏出をきたし,他に適切な処置法のない場合に限る)
【禁】本剤成分又はウシ血液を原料とする製剤(トロンビン,フィブリノリジン,幼牛血液抽出物等),ウシ肺を原料とする製剤(アプロチニン等),ウマ血液を原料とする製剤(抗ヒトリンパ球ウマ免疫グロブリン,抗ヒト胸線細胞ウマ免疫グロブリン,乾燥まむしウマ抗毒素等)に対し過敏症 凝固促進剤(臓器抽出製剤,蛇毒製剤) 抗線溶剤 アプロチニン製剤 皮膚切開部 メタクリル系接着剤によって補綴剤と接着する骨表面【重大な副作用】ショック	

H 2 受容体拮抗薬

ファモチジン famotidine ガスター Gaster (山之内) D錠：10mg 薬価 43.6 錠：20mg 77.6 注：20mg/A 422	<p>【効】[内] (1)胃潰瘍,十二指腸潰瘍,吻合部潰瘍,上部消化管出血(消化性潰瘍,急性ストレス潰瘍,出血性胃炎による),逆流性食道炎,Zollinger-Ellison 症候群 (2)次の疾患の胃粘膜病変(びらん,出血,発赤,浮腫)の改善：急性胃炎,慢性胃炎の急性増悪期 [注] (1)上部消化管出血(消化性潰瘍,急性ストレス潰瘍,出血性胃炎による),Zollinger-Ellison 症候群 (2)侵襲ストレス(手術後に集中管理を必要とする大手術,集中治療を必要とする脳血管障害・頭部外傷・多臓器不全・広範囲熱傷)による上部消化管出血の抑制 (3)麻酔前投薬</p> <p>【用】[内] (1)1日40mgを1回(就寝前)~2回(朝食後,夕食後又は就寝前)に分服 (2)1日20mgを1~2回に分服 [注] (1)(2)1回20mgを1日2回緩徐に静注、点滴静注、筋注 (3)1回20mgを導入1時間前に筋注、静注</p>
<p>【禁】本剤成分過敏症 【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 汎血球減少 無顆粒球症 再生不良性貧血 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 中毒性表皮壊死症(Lyell 症候群) 肝機能障害 黄疸 横紋筋融解症</p> <p>【備考】D錠：口腔内崩壊錠</p>	

感染症治療剤

レボフロキサシン levofloxacin クラビット Cravit (参天) 点眼液：25mg/5mL/本 薬価 819.5	【効】レボフロキサシン感受性菌による次の感染症：眼瞼炎, 麦粒腫, 涙のう炎, 結膜炎, 瞼板腺炎, 角膜炎, 角膜潰瘍, 術後感染症 【用】1回1滴1日3回
【禁】本剤成分、オフロキサシン及びキノロン系抗菌剤過敏症【重大な副作用】ショック	

X線造影剤(ヨード製剤)

イオパミドール iopamidol イオパミロン Iopamiron (日本シエーリング) 注150：50mL/V 薬価 4392 注300：20mL/V 3469 注300：100mL/V 14762 注300：100mL/リッジ 15831 注370：100mL/V 17908 注370：100mL/リッジ 18251	【効】150：デジタルX線撮影法による動脈性血管撮影, コンピュータ断層撮影における造影, 静脈性尿路撮影, 逆行性尿路撮影 300：脳血管撮影, 大動脈撮影, 選択的血管撮影, 四肢血管撮影, デジタルX線撮影法による静脈性血管撮影, デジタルX線撮影法による動脈性血管撮影, コンピュータ断層撮影における造影, 静脈性尿路撮影, 逆行性尿路撮影 370：血管心臓撮影(肺動脈撮影を含む), 大動脈撮影, 選択的血管撮影, 四肢血管撮影, デジタルX線撮影法による静脈性血管撮影, デジタルX線撮影法による動脈性血管撮影, コンピュータ断層撮影における造影, 静脈性尿路撮影
【警】ショック等の重篤な副作用 高濃度製剤については脳槽・脊髄造影には使用しない【禁】ヨード又はヨード造影剤過敏症 重篤な甲状腺疾患【原禁】一般状態の極度悪化 気管支喘息 重篤な心障害 重篤な肝障害 重篤な腎障害 急性膵炎 マクログロブリン血症 多発性骨髄腫 テタニー 褐色細胞腫【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 腎不全 肺水腫 せん妄 血小板減少 錯乱 健忘症【備考】非イオン性	